

やまのこ保育園 ～4園合同運動会交流リズムをしました～ 9月18日～20日

毎年9月に2泊3日で行っている4園合同運動会交流リズム。今年には長野4園が集まりやまのこ保育園で行いました。

大人も含め70名近い人数です。5月7月にも年長リズム交流を行っているので子どもたちは楽しみに迎えていました。

1日目は、弘法山から中山霊園まで歩き、中山霊園では広い草原を縄跳びで思い切り走る子どもたちでした。二日目は、リズム、跳び箱、鉄棒。



久しぶりの4園合同リズムはお互いの姿を真剣に見つめる姿があり互いに刺激となりました。午後は「スーホの白い馬」の語りと馬頭琴の演奏。馬頭琴の音色とエンジェルスハーブの音色が物語を一層引き立て子どもたちはお話の世界に引き込まれていきました。三日目は園庭で運動会リズムと4園混合リレー。園庭でのリズムは生まれ月ごとだったので緊張感を感じている子もいましたが、仲間の頑張る姿に励まされていました。

大人も子どもも学びの場となる交流リズムです。

上高田保育園 夏祭り

8月末に夏祭りを行いました。

この日のために年長は提灯作りを行いました。

自分たちが作った提灯が灯った時の子どもたちの「わー！綺麗！」とキラキラした目で見つめる顔が今でも忘れられません。

また年長の保護者の方々にご協力いただき、たつのこたろうのねぶたを作っていただきました。このねぶたを担ぐことを楽しみに当日を迎えました。16時半から2～5歳児の太鼓、ねぶた担ぎ、跳人を楽しんだり、せんぜんさんによる大迫力の「鬼剣舞」を見せていただいたりしました。

その後、18時半から保育園のそばをねぶたの練り歩きの予定でしたが、17時から突然の大雨。。。外に向かって「晴れ晴れパワー！」と何度も叫ぶ子どもたちのおかげで18時に雨が止み、無事「わっしょい！わっしょい！」と練り歩くことができました。全員の思いがひとつになり、とても良い思い出になったと思います。



海野保育園 ～「田楽座」に参加しました～

長野県伊那市のまつり芸能集団「田楽座」の60周年記念公演が上田市でおこなわれ、海野保育園の年長児や卒園児が太鼓で参加しました。



22年前に海野保育園の太鼓「うんのわらしこ太鼓」を作曲していただいたご縁で、記念公演のフィナーレに田楽座との合同演奏をおこないました。年長児は小学生との練習もリハーサルも堂々とした姿で、本番も大勢の観客の前でのびのびとした演奏を見せてくれました。



田楽座の秋田音頭・とりさしまい・玉すだれ・獅子舞・八木節などユーモアあふれる芸能を笑いと感じて楽しみました。

田楽座の「土の香、人の情、ふるさとをこよなく愛して」の思いのように日本の「ふるさと」を大切にすることを子ども達にも育てて行ってほしいです。

山の子保育園 ～松本城下町散策・井戸巡りをしました～

10月に入り八方登山に合わせお泊まりをしました。初日は松本市内の井戸巡り。松本は水の街でもあり、湧き水の水路が各所に張り巡らされていて「こんなところにも！」と至る所に井戸や湧き水があります。城下町を散策しながら、魚屋さんを発見。



大きなマグロの魚拓が店内にあり、外のガラスにへばりつくように覗いていると「中見ていく？」と声を掛けて頂き見学させてもらいました。ヒラメやキンキ・鯛や毛ガニなど一つひとつ見せてもらい、普段なかなか見られない種類の魚も多く「これ何？これは??」と興味津々でした。巡った井戸は…鯛萬の井戸・女鳥羽の泉・伊織霊水・なわて若返りの泉・蔵の井戸・源智の井戸・源池の水源地井戸。他にもたくさんの水くみ場や井戸があります。

その中で女鳥羽の泉では、隣の酒屋さんが「井戸巡りをしているのなら…」と声を掛けてくれ井戸水の飲み比べ方を教えてくれました。（なみなみと注いでコップのふちを使わずに真ん中を吸う）いざやってみると「さっきのよりなんかしょっぱい！」「味が違う！」とびっくり！発見がたくさんあり、いっぱい歩いたけど楽しい井戸巡りになりました。2日目は白馬八方尾根登山。



ゴンドラに乗ってあっという間に山の上へ。天気が良く絶景を眺めながら八方池までのハイキングを元気に歩き楽しんでいた年長でした。

上高田保育園 ～園庭での米作り～

5月から約5ヶ月かけて田んぼでお米を育てました。園庭に縦3m横6mのとても大きな穴を掘りました。毎日朝から夕方まで掘り進め、時に小さいお友だちにも手伝ってもらったり、泥遊びを楽しんだりして掘り終わることが出来ました。



その後は、田んぼに水を溜めるためにバケツで水を運び田んぼにしました。この時ホースは一度も使わずに根気よく水を運び続けるたくましい子どもたちの姿がありました。6月に田植えを行い、この日から毎日のように田んぼの観察をしていた子どもたちでした。田んぼに遊びに来るアメンボやオタマジャクシ、ホオネンエビを捕まえて楽しんだり、「僕の目の高さと同じくらいになった！」と稲と背比べをしたりして生長を喜んでいました。また、水が少なくなったことに気がつく自然とバケツで水を運んでくる姿もあり自分たちが作った田んぼという意識が強くなっていったように感じました。9月末に稲刈りを行い、10月末には脱穀を行いました。足踏み脱穀機でとり切る事の出来なかった粃を目を凝らしながら見つけ、器用に手で取っている姿がありました。自分たちが作ったという特別なお米を1粒たりとも見逃さないようにする子どもたちの真剣なまなざしがとても素敵でした。収穫できたお米はなんと5kg以上！この特別なお米で何を作ろうかとワクワクの子どもたちです。

